Vol. 219 2022年3月10日発行

郡家コンクリート工業株式会社 〒680-0433 鳥取県八頭郡八頭町山上 363-17 TEL(0858)73-0500 FAX(0858)73-0535

日々進化

<URL>http://www.kooge.jp/

4月を待たず3月から入社し、希望と不安に胸を膨らませながら、頑張っているフレッシュマンもたくさんいます。会社側としても何とか定着させ、一人前に育てたいと思っていますが、彼らのモチベーションを維持しながら、教育・指導を行うことは簡単ではありません。

私が敬愛する第一コンサルタンツの右城猛社長は、ホームページ『右城猛の日々進化』の中で「若手技術者に伝えたいこと」として仕事の流儀を書いていらっしゃいます。新入社員だけでなく、中堅、ベテランの方にも大いに参考になること請け合いです。ぜひお役に立てて下さい。

(2020年に上梓された『夢を追い求めて〈土木技術者編〉』でもご覧いただけます。)

若手技術者に伝えたいこと

私が心がけてきたこと(1)

1. 約束の期限を守る

いい仕事をすることは良いことであるが、それによって約束の期限に遅れてしまえば、元も 子もない。「骨折れ損のくたびれもうけ」になってしまう。

仕事が遅い人に共通していることは、相手が求めていない余分なことに多くの時間を割いていることである。

私は、仕事を頼まれた時には、初回の打ち合わせで「仕事の目的」「期限」を伺ってから、相手の要求に応えるには具体的に何をすべきかを考え、その内容を相手に伝えて確認するようにしている。

そして、約束の期限まで余裕があったとしても、頼まれたらすぐに仕事に取りかかり、とりあえず六〇点のところまで仕上げ、時間に余裕があれば完成度を高めるようにしている。このようにしておけば、例えアクシデントで予定が狂っても、約束の期限に遅れることはない。

2. 頼まれた仕事は断らない

私は、頼まれたことは、専門分野が多少異なっていたとしても、荷が重すぎると思えることでも、日程が被っているなどよほどの理由がない限り断らないことにしている。

難しい困難な仕事ほど、技術力を伸ばすことができる。そして、この経験を積み重ねることで 次のステージに上がることができる。

失敗を恐れていては何もできない。勉強すれば何とかなる。人に聞けば何とかなるものである。何事もポジティブに、プラス思考でチャレンジしてきたことが、技術力を磨き人脈を広げるうえで大きかったように思う。

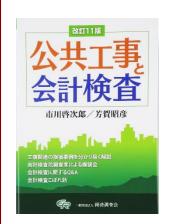
(4月号に続く)

$\nabla \nabla$ \neg \neg \neg \neg \neg \neg \neg \neg

右城 猛(うしろ たけし)氏は、高知県長岡郡本山町古田出身。1950年5月生まれ。

現在、株式会社第一コンサルタンツ 代表取締役の他に、愛媛大学特定教授、岐阜大学客員教授などに携わられています。 技術資格:博士(工学)、技術士(建設部門:土質及び基礎/鋼構造及びコンクリート)(総合技術監理部門)、

1級土木施工管理技士



会計検査

『公共工事と会計検査』の改訂 11 版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。 一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎(いちかわ けいじろう)氏は昭和19年生まれ。 元会計検査院 国土交通総括検査室長を務められていました。 芳賀 昭彦(はが あきひこ)氏は昭和30年生まれ。 現在、一般財団法人経済調査会技術顧問としてご活躍中です。

会計検査こぼれ話:作業着

工事関係の会計実地検査では、調査官も作業着を着て検査を行う。必要に応じてヘルメットや安全靴も着用する。また、現場に出るときだけではなく、検査会場で書面検査を行う際にも作業着でいることが多い。いちいち着替えるのが面倒くさいからという実務的なことが一つの理由であるが、作業着を着て検査を行う理由はほかにもある。それは、工事関係の検査の場合、受検庁の方のほとんどが作業着を着ているのだから、検査する側がスーツを着ているのでは威圧感を与える、同じ目線に立てないということである。このことは何人かの先輩から教わり、後輩にも伝えてきた。また、ある県の方に、調査官がスーツを着ている場合と作業着を着ている場合についての感じ方を聞いたところ、やはり、スーツを着ていると上から目線を感じる、作業着を着ていると何となく親近感を覚えるとのことであった。

私は現在、工事関係の検査課を離れてしばらく経つのだが、昔からの習慣のためか、作業着を着て検査を行う方が落ち着くし、気合が入るので、工事とは関係のない検査でも作業着を着て行うことがある。そして、今年は横断的な検査の一環で工事関係の検査を行うことが多いので、基本的に作業着で検査を行っている。また、同じ班で一緒に検査を行うメンバーにも作業着を着ることを勧めている。理由は上記のとおり。しかし、班のメンバーには工事関係の検査の経験がない者もいて、作業着を着ることに違和感があるようで、「作業着を着て検査するなんて相手に対して失礼じゃないですか」とか、「作業着なんか着なくても相手は胸襟を開いてくれますよ」

などと私のアドバイスを聞いてくれない。「相手に対して失礼…」は大いなる誤解だと思うが、「胸襟…」は確かに作業着の問題というより人間性の問題なので、彼の言うことにも一理ある気がしないこともないのだが…。受検庁の皆さん、スーツの調査官と作業着の調査官のどちらに胸襟を開くでしょうか。 (S. K)





◇ ミックスドレン ◇◆・

こんにちは! ライオン通信のレオちゃんです♪



今月は、石田鉄工株式会社様のグレーチング『ミックスドレン』をご紹介します。 U字溝用のドレンゲッターとなっており、 ステンレス×スチールという組み合わせの製品です! 是非ご検討ください^^







↓ 目地とスリット蓋にステンレスを採用しているので、美しい景観を演出します。

ないでの製品の高さを110mmに統一しているので、<u>段差なく施工可能です。</u>

スリット部をサイドに設定しているので、<u>敷地境界線に対応しています。</u>



LINEUP



別途W24・W100対応出来ます。お問い合わせください。

U字溝用仕様-

U字溝 サイズ	荷重条件	ステンレス製 グレーチング/形式	スキマ (mm)	蓋重量 (kg)	メッキ受枠ステンレス 目地付き/形式	受枠重量 (kg)
150	T-14	T4CPR-F	5.9	3.7	TAUDW-MIX150-14-S56	14.9
	T-2				TAUDW-MIX150-2-S56	13.6
	歩道				TAUDW-MIX150-歩-S56	13.2
180	T-14				TAUDW-MIX180-14-S56	17.9
	T-2				TAUDW-MIX180-2-S56	16.3
	歩道				TAUDW-MIX180-歩-S56	15.8
240	T-14				TAUDW-MIX240-14-S56	20.8
	T-2				TAUDW-MIX240-2-S56	19.0
	歩道				TAUDW-MIX240-歩-S56	18.4
300	T-14				TAUDW-MIX300-14-S56	25.5
	T-2				TAUDW-MIX300-2-S56	20.9
	歩道				TAUDW-MIX300-歩-S56	20.1

製品の長さはすべてL=1000mm

グレーチングはステンレス製、受枠はスチール製(溶融亜鉛めっき)です。

目地のみステンレス仕様の製品にすることにより、意匠性を重視する舗装路面のスリット型 排水みぞ蓋をステンレスの高級感とシャープな輝きで、景観デザインの向上に貢献します。



安全・快適な

スキマ

溶融亜鉛メッキ

5.9_{mm}

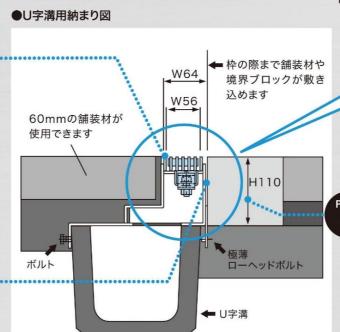
受枠

グレーチングと目地に ステンレスを採用

ステンレス製グレーチングの表面はノンスリッ プ形状を標準とし、スリット幅56mm・スキ間 5.9mmとなっており「安全」「安心」「快適」なユ ニバーサルデザインとなっております。

スリット部を サイドに設定

敷地境界際のU字溝を設置する際に最適な製 品です。



製品の高さを 110mmに統一

ステンレス使用部

拡大図

ステンレス 🏻

ステンレス製 グレーチング

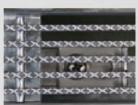
異なる荷重条件(歩道用・T-2・T-14)でも 製品高さを110mmに統一しているため簡単 施工が可能となり、施工時間短縮・トータルコ スト低減ができます。



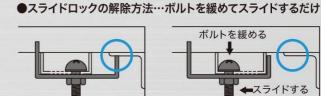
固定が簡単な スライドロック

目地のスキマからプラスド ライバーを差し込み簡単に ロックできます

●取外し金具



●スライドロック上部



ロック状態

ロック解除の状態

ボルトを緩める

軸径φ5のプラスドライバーをご使用下さい。

グレーチングのお問い合わせは、 石田鉄工株式会社様へお願いいたします。

●>石田鉃工株式会社

営業所のページに進みます →



◆ 製品に関するお問い合わせ☆資料請求は

直通電話:0858-73-0500 までお気軽にどうぞ!

FAX: 0858-73-0535

E-mail: info@kooge.jp

編集後記 \Diamond

今月は、石田鉄工株式会社様の製品をご紹介しました。

今回ご紹介した「ミックスドレン」の他にも、様々な種類のグレーチングがあり、きっと 探している製品が見つかると思います。

グレーチングのことでお困りの際は、是非お問い合わせしてみてください! (弊社もわからないことがあればいつもご連絡しています。)

(土田)



<URL>http://www.kooge.jp/ <e-mail>info@kooge.jp